

佐賀県で高病原性鳥インフルエンザ確認

【農場】所在地 : I (発生疑い農場)佐賀県 西松浦郡 肉用鶏 約4万5千羽
: II (同一飼養管理者農場)佐賀県 西松浦郡 肉用鶏 約2万8千羽

【経緯】

- 1月17日 ・佐賀県は死亡鶏が増加した旨の通報を受けて当該農場 I に対し立入検査するとともに当該2農場に対し、移動の自粛を要請。
・当該農場 I の肉用鶏を簡易検査を実施し陽性を確認。
- 1月18日未明 ・遺伝子検査でH5亜型と判明し疑似患畜であることを確認。
- 1月18日 ・殺処分を開始

高病原性鳥インフルエンザから鶏を守るために 侵入防止対策を強化し、最大の警戒を！

衛生管理チェック表(裏面)で確認を行い、不備な点は改善を行いましょう。

★重点項目(チェックしましょう☑)

- | | | |
|--------|-----------|----------|
| ☑防鳥ネット | ☑鶏舎の修繕 | ☑ネズミ対策 |
| ☑車両消毒 | ☑消毒槽 | ☑専用長靴、衣服 |
| ☑飲水対策 | ☑記録の作成と保存 | |

- ・毎日の健康観察を一層慎重に行いましょう。
- ・死亡羽数の増加があった時、いつもと何か違うと感じる異状があった時はすぐに連絡を！

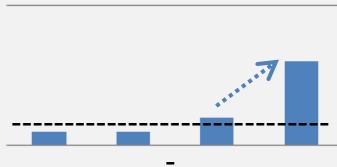
疑う症状

鶏冠・肉垂のチアノーゼ
産卵率の低下、沈うつ等
を確認した場合



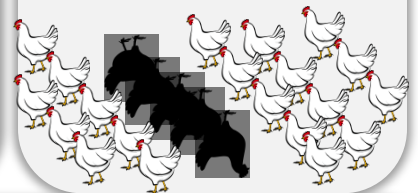
死亡羽数が2倍

1鶏舎で、1日の死亡羽数が、
過去21日間の平均死亡羽数
の2倍以上となった場合



5羽以上

1鶏舎で5羽以上がまと
まって死亡、うずくまって
いる等の異常な状況が
確認された場合



家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎電話 0577-33-1111)まで連絡してください。

※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く「**お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。**」の案内メッセージに従って対応をお願いします。

メッセージは最後まで
聞いてね！



農場の衛生管理 チェック！



主なチェック項目

1	家きんが感染する病気の予防や拡散の防止に関する情報を把握している。	
2	衛生管理区域をはっきり分かるように設定している。	
3	「部外者立入禁止」等の看板を設置して入場制限をしている。	
4	立入る者の記帳などを張り紙などで周知し、入場記録として保管している。	
5	出入口付近に立ち入る者用の消毒薬を設置している。	
6	家きん舎の出入りする際に、手指、靴の洗浄・消毒を常設している。	
7	専用の衣服や靴を設置し使用している。	
8	立入るものは当日の行動歴や過去1週間以内の海外渡航歴を確認し、むやみに立ち入らせないようにしている。	
9	他の畜産施設などで使用したもので、直接、家きん、卵等に触れるようなものは洗浄または消毒している。	
10	持ち込む衣服や靴の過去2カ月以内の海外での使用歴を確認し、必要な場合を除いて、持ち込ませないようにしている。	
11	給餌設備、飼料保管場所等に野生動物の排泄物の混入防止に必要な適切な措置を講じている。	
12	飲用に適した水を給与している。	
13	侵入防止の柵や防鳥ネットなどの野生動物侵入防止対策を講じている。	
14	定期的に家きん舎の屋根や壁、防鳥ネットなどを点検し、破損個所を修繕している。	
15	ねずみや害虫の駆除に必要な措置を講じている。	
16	家きん舎や器具の清掃消毒を定期的実施している。	
17	空になった家きん舎やケージの清掃・消毒をしている。	
18	適切な密度で飼育している。	
19	異状があった場合に家畜保健衛生所に連絡する体制を確保している。	
20	毎日、家きんの健康観察を行っている。	
21	防疫措置のための埋却、焼却などの処理の準備ができている。	

日本、韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8亜型)の発生状況(2014年1月～)

2015年(H27年)1月18日現在

□ : 家きん □ : 野鳥等

韓国(H27. 1. 1現在)

- ・1月16日～7月25日
212件548農場 約1,397万羽
(鶏44件、あひる159件、うずら等9件)
- ・9月24日～
35件41農場 約53万羽
(鶏6件、あひる27件、その他2件)

山口県
12月30日 長門市
鶏(種鶏) 3万7千羽

佐賀県
1月18日 西松浦郡
Ⅰ 鶏(肉用) 4万5千羽
Ⅱ 鶏(肉用) 2万8千羽

熊本県
4月13日 球磨郡
鶏2農場 各5万6千羽

鹿児島県
11月出水市マナヅル
他 5検体で検出

鳥根県
11月安来市
渡り鳥糞

鳥取県
11月鳥取市
カモ類糞

千葉県
11月長生郡
カモ類糞

岐阜県
12月可児市
オシドリ

岡山県
1月15日 笠岡市
鶏(採卵) 20万羽

宮崎県
①12月16日 延岡市
鶏(種鶏) 4千羽
②12月28日 宮崎市
鶏(肉用) 4万2千羽

家きんでの発生状況

場所	時期	検体
熊本県球磨郡 多良木町	H26.4.13	肉用鶏
宮崎県延岡市 北川町	H26.12.16	肉用種鶏
宮崎県宮崎市 高岡町	H26.12.28	肉用鶏
山口県長門市 日置中	H26.12.30	肉用種鶏
岡山県笠岡市 東大戸	H27.1.15	採卵鶏
佐賀県西松浦郡	H27.1.18	肉用鶏 ※

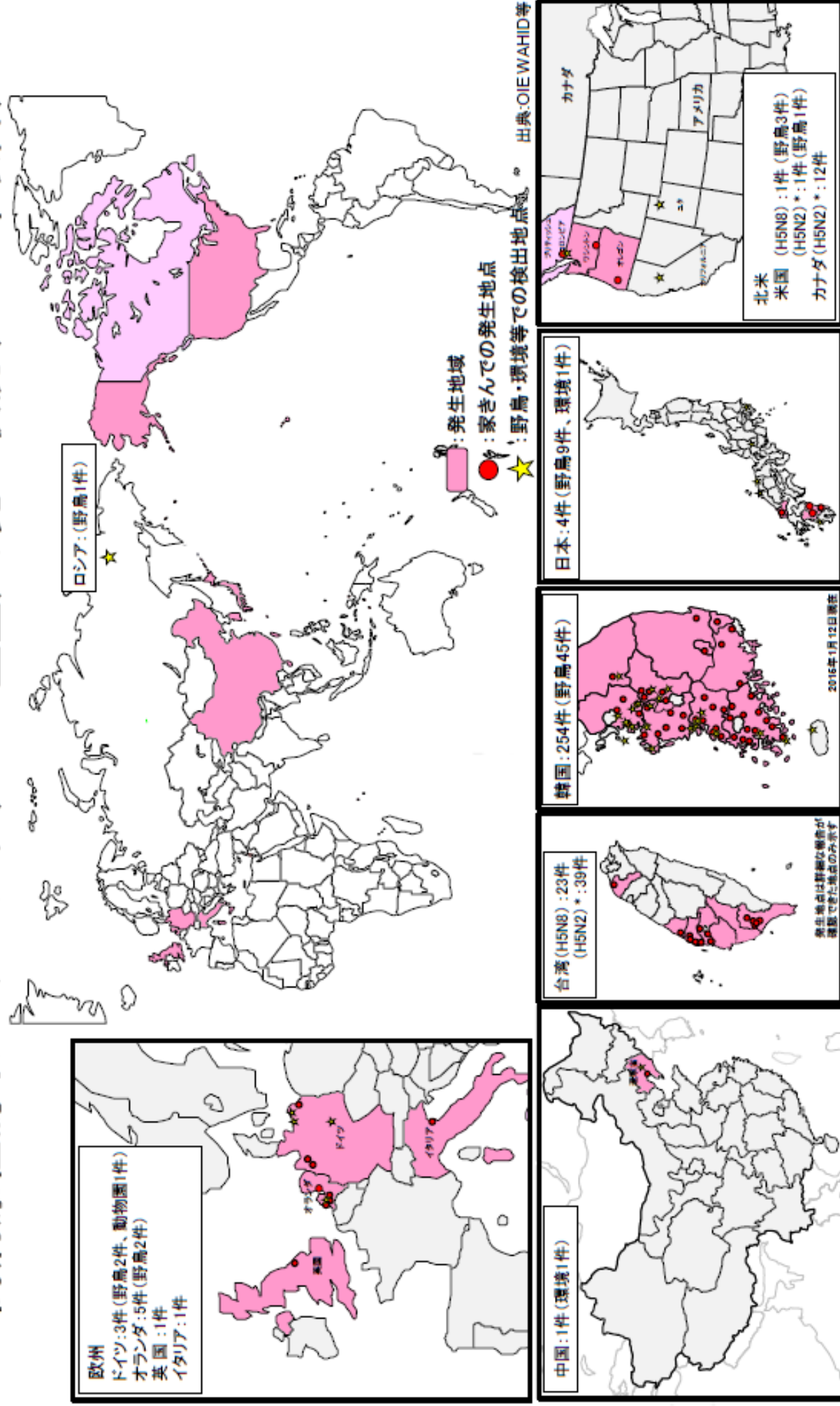
※佐賀県の事例はH5亜型までの確認

野鳥等での検出状況

場所	時期	検体
鳥根県安来市	H26.11月	渡り鳥糞
千葉県長生郡	H26.11月	カモ類糞
鳥取県鳥取市	H26.11月	カモ類糞
鹿児島県出水市	H26.11月	マナヅル
	H26.12月	ねぐらの水
	H26.12月	ナベヅル(3件)
	H27.1月	ナベヅル
岐阜県可児市	H26.12月	オシドリ

5県10検体で検出

高病原性鳥インフルエンザ(H5N8亜型)の発生状況(2014年以降)



注: 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない。また、本図の縮尺は一致していない。
 * 米国ワシントン州、カナダ及び台湾で確認されたH5N2亜型ウイルスのHA遺伝子はユーラシア系統のH5N8亜型ウイルス由来と考えられる。

2015年1月15日現在